

林研女性グループ「ききょうの会」先進地研修会開催

1 はじめに

二戸農林振興センター林務室では、林研女性グループ「ききょうの会」の活動支援として、平成26年7月1日に西和賀町で山菜栽培や薪ストーブ利用の取組みについての研修会を開催しました。

2 西和賀町「小田島薫さん」の山菜栽培・商品化の取組み

小田島さんは、西和賀町の山菜栽培先駆者であり、17種類の山菜の栽培技術をマニュアルにまとめ、農地や林床を利用した人工栽培に取組んで栽培技術を確立しました。

特に「あく」の少ないワラビ(黒ワラビ)については、町内200名のネットワーク化を図り、生産量30tを目標に取組んでいます。



林床を活用した山菜栽培

3 西和賀町バイオマス事業への取組み

西和賀町は、面積の約8割が森林で占められており、町では地域の森林資源の有効利用を進めようと「薪ストーブ利用世界一」を目指し、薪ストーブについての講演会や展示会

を開催しています。

また、西和賀町森林組合に薪割機を設置し、薪供給の仕組みを作りながら、町民に薪ストーブの利用を積極的に働きかけています。

なお、森林組合も町と連携して薪ストーブの普及を図るため、組合事務所に薪ストーブを設置しPRするほか、町内外からの薪のニーズに応えられるよう「薪ステーション」を設置して安定的に供給できるように取組んでいました。



西和賀町森林組合「薪ステーション」での説明

4 おわりに

今回は、「ききょうの会」会員8名とその旦那様のグループ「山おやじの会」7名が研修に参加しました。西和賀町での先進的な取組みを、これからの会の活動の励みとし、これまで行ってきたマイタケ栽培やタラの芽の山菜などの販売を柱とした活動について、今後も自己研鑽に励み、更なる収益性の確保に取組んでいきたいと考えています。